

諏訪地方社保協

ニュース

諏訪地方社会保障推進協議会
2022年11月11日発行 No.1
下諏訪町矢木町214 南信勤医協内
TEL: 0266-28-3071(代)
メール: suwasyahokyo2021@skhp.or.jp
ホームページ: “諏訪社保協”で検索

いのち優先の社会、人権としての 社会保障の実現をめざして



10/31 第9回総会開催

「高齢難聴の対応」を講演する野田寛先生 10/31



開会あいさつ
毛利 正道 会長

10月31日夕方、諏訪地方社保協の第9回定期総会を下諏訪町総合文化センターで行いました。記念講演として、沖縄県難聴福祉を考える会名誉会長（琉球大名誉教授）で耳鼻咽喉科医として附属診療所で「補聴相談ひろば」相談医を行っている野田寛（のだ ゆたか）先生から、「高齢難聴の対応」と題しての講演（リモート）を視聴しました。社保協では全国的に進められている補聴器購入に公的助成制度の創設を求め、各自自治体に要望してきています。現在、本格実施を進める

野田先生からは、加齢性難聴は40代くらいから始まり、全国では2500〜3000万人で悪化すると、「コミュニケーション障害により孤立し、認知症や要介護状態になりやすい。食事コントロールや運動の励行など生活改善（総コレステロールや「LDL」コレステロール、中性脂肪を正常上限半分以下にする）を行うことでかなり抑えることが

難聴者のバリア フリーのまちづくり

ため、市町村長宛ての署名を開始しており、そのための学習会として位置付け、会場とリモートにも一般参加も含め多くの視聴者が集まりました。毛利県議をはじめ、地方議員の参加も何人もありました。



来賓あいさつ
金井 敬子 下諏訪町副議長

できる。補聴器は適合した補聴器でないと満足感が乏しいことがわかっており、補聴器相談医による認定で適正な補聴器の選択を行うことが必要だ。同時に高齢難聴者に配慮したまちづくりの観点も必要と、海外では当たり前の集団補聴方式（磁気ループ・赤外線・FM方式等）のインフラを公的な場所に設置する等の高齢化社会のまちづくりまで言及されました。活発な質疑も行われ、中身の濃い講演会となりました。



議長就任あいさつ
共立病院事務長 西村 高志さん

その後の総会では、毛利会長が「軍事費を増やし、社会保障を削る岸田政権の下、生の声を怒りに変えて広げて人の心を動かそう。社保協の活動で歯止めをかけよう」と開会あいさつしました。来賓あいさつでは金



共立福祉会理事長
岩間ひとみさん



高教組支部長
浜順二さん

活動報告では、高教組諏訪支部長の浜さんより高教組の活動や諏訪地域の高校再編問題、共立福祉会の岩間理事長から福祉会の状況とコロナ問

題、諏訪地方民商の清水事務局長からはインボイス制度の問題と反対運動、健康クラブ泉の会の花岡事務局長より、75歳以上の高齢者医療費2倍化やコロナ感染での医療・介護現場の状況などそれぞれ

井敬子下諏訪町議会副議長が、議会での補聴器購入助成への取り組みに触れ、町の高齢者実態調査の報告が遅れており、来年の一斉選挙に向けて、社保協の署名は実現に向けての大きな力になると挨拶いただきました。
議事は議長に西村共立病院事務長を選出し進めました。備前社保協事務局長より、この1年間の活動のまとめと決算報告、22年度の方針・予算案を説明しました。方針で、医療・介護の改善と合わせ、来春の一斉地方選を前にして、特に24年の医療・介護・せて、来春の一斉地方選を前にして、特に諏訪地方では市町村に補聴器署名、県には小中学校での給食無料化、そして国への子どもの医療費18歳までの無料を求める3本の署名に力を注ぎ、地方議会や首長に実施を迫っていくことなどを提案し、すべての議案が議決されました。



健康クラブ泉の会事務局長
花岡進さん



諏訪民商事務局長
清水栄子さん

また毛利栄子県議、松井節夫下諏訪町議、早出すみ子岡谷市議からも発言がなされ、内容的にも深めることができた総会となりました。ご参加・ご協力いただきありがとうございました。

選出された

常任幹事の皆さん

会長 毛利正道（再）

法律事務所こんにちは

副会長 浜順二（新）

高教組諏訪支部

濱恒弘（再）

諏訪地区労連

今井進（再）

年金者組合

岩下功一（再）

諏訪地域民医労

事務局長 備前光正（再）

子どもの医療費無料化対象年齢が18歳へ拡大 諏訪・岡谷が来年4月より実施表明！茅野市にも波及

9月の諏訪市議会で金子ゆかり市長は、来年4月から子どもの医療費無料化の対象年齢を18歳に拡大する旨の答弁を行い、ひきつづいて岡谷市議会でも今井竜五市長も同年齢への拡大を表明しました。残る茅野市は9月議会の一般質問では周辺自治体の様子を見るとの答弁にとどまっていたが、9月末の茅野市行財政審議会において18歳への拡大を検討方向としたとの報道です。いよいよ諏訪地域すべての自治体でも子どもの医療費無料は18

歳までが主流となりつつあります。地域住民の運動と県・市町村議会と結んだ運動が実を結びつつあります。

合わせて諏訪の3市と下諏訪町では入院時の食費助成も行われてきていますが、18歳まで同制度が行われていけば県内でも進んだ制度となります。現在諏訪地域で完全無料は原村のみですので、こうした事を重点にしてこの地域は原村同様に18歳まで完全窓口無料、さらに食費助成も行われる先進地域にしていきたいと思ひます。

介護保険改善のための陳情、6市町村・広域連合議会に提出。同時に首長にも要請

諏訪地方社保協は11月8・9日に諏訪地域の市町村の12月議会、および広域議会（来年3月）に向け上記陳情を提出しました。24年の介護保険改定を前にしての23年度は審議が行われる重要な時期で、同趣旨の要請書をそれぞれの首長にも提出しました。

補聴器購入助成署名の到達

自治体	到達	目標数
岡谷市	164	1000
諏訪市	208	1000
茅野市	26	1000
下諏訪町	113	500
原村	0	300



集まっている署名を社保協事務局にお寄せください。ご連絡いただければ取りに行きます。